

家庭学習のすすめ

1. 家庭学習についての基本的な考え方

学校はよりよい習慣づくりを身につけさせる機関であり、学習は将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校でも学習内容が定着するように日々努力していきませんが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、学びが習慣化してより確かな学力形成につながります。

学力向上は、学校の授業と家庭学習の充実の両方が大切です、それらは車の両輪のような存在です。保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、子どもたちの自分でやる意識を育むようにご協力をお願いします。

2. 家庭学習を通して育てたい児童の姿

- 自分でやる意識を持って、学び考える児童
- 生活時間を有効に使うことができる児童
(勉強や読書、手伝いに使う時間が、テレビやゲームに費やす時間より多い児童)
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童
- 自分の思いや考えを表現できる児童

3. 基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容（教科書に記載されている内容）です。

特に、次のような技能は、各学年間でつながりをもっていますから、それぞれの学年で確実に身に付けておくことが望ましいと言えます。

- 教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- 教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること
- 教科書に出ているような算数の問題を解くこと

4. 家庭学習の習慣づけのために

(1) 習慣化のためのポイント

- ① 学習する時間を決めて、毎日同じ時間に。
- ② テレビを消して集中力アップ！
- ③ 中学年以上の子どもは、学習の後、「答え合わせ（自分で）」まで。

◎おうちの方へ

☆家での声かけを大切に・・・

- ・子どもが、学習していることに関心をもち、はげましてあげてください。
- ・子どもが、たずねてきたらできる範囲で結構ですので答えてあげてください。
- ・子どもが、頑張った成果（ノートやプリント等）に目を通して、努力を認めてあげてください。

※「答え合わせをする意味」

子どもたちにとって答え合わせは、「正解・不正解」を確かめるだけの活動と思われがちですが、実際は、学習内容の理解に関わる重要なものです。

「不正解」だった問題については、「どこが違っているのか」「どうして違ってしまったのか」をていねいに探ることにより、『自分の理解度』を把握し、『弱いところの補強（再考する・練習をする）』をすることによって『確かな定着』へとつながっていきます。このプロセスを忠実に実行できれば、『間違えることが、確実に自分を成長させることにつながる』といえます。

（２）学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。 ・少しずつ自分で答え合わせができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題が確実にできる。 ・宿題以外にも自主的な学習に取り組むことができる。 ・自分で答え合わせができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に家庭学習に取り組むことができる。 ・どんなことに取り組むかを考え、必要感のある学習ができる。 ・自分で答え合わせができる。

（３）家庭学習の時間のめやす

学年×１０分（例えば６年生なら６×１０＝６０分）以上

あくまでもめやすとしてとらえてください。興味・関心のある内容、やりがいのある問題に取り組んでいる場合は、それ以上になることでしょう。また、休日などに自由に使うことのできる時間が確保できるのであれば、さらに３０分～６０分程度増やせるとよいです。

（４）家庭学習の内容（下記の内容は一例です。）

国語	算数	社会・理科・総合・生活
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習 ・視写 ・言葉の意味調べ ・日記 ・音読 ・テストの問題をもう一度解くなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やドリルの問題 ・計算練習 ・百マス計算 ・生活の中から問題を見つける ・市販の問題集の問題を解く ・テストの問題をもう一度解くなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことに関係あることを資料などで調べる ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる ・テストの問題をもう一度解く など

*授業の復習をすることが、家庭学習の基本です。復習しないとすぐ忘れてしまいます。復習して、授業で学んだことを振り返り、確認することが自分の力になります。

他にも・・・

- ・新聞や読み物の感想をまとめてみましょう。おうちの人に伝えましょう。
- ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べてみましょう。
- ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べてみましょう。
- ・できる範囲で、新聞に目を通してみましょう。
- ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
- ・詩や歌の暗唱をしてみましょう。（百人一首などの暗唱もよいです）